



▲初優勝の岩屋支部

寺尾杯争奪 第42回全国実業団支部对抗選手権

3月12・13日 / 稲沢グランドボウル

岩屋支部が混戦を制し初優勝

寺尾杯争奪『第42回全国実業団支部对抗選手権大会』が、3月12日から2日間、愛知・稲沢グランドボウルで開催され、112チーム(5人チーム)が参加して熱戦が繰り広げられた。

予選9G、決勝3Gの12G(チーム60G)トータルで争われた。予選1回戦を、5人チームの連盟新記録となる3566と絶好

のスタートを切った地元・愛知の一宮支部(岡井・淀川・亀山・森・暖水)が、2回戦は3135とペースダウンも、3回戦で3514と盛り返し、トータル10215の1位で決勝に進んだ。2回戦で一度は首位を奪った愛知の岩屋支部(菊地・佐々木・鈴木・河合・河合)が、一宮支部から176ピン差の2位につけ、岩

屋支部から32ピン差の3位に北海道・札幌支部(大津・矢原・戸島・高橋・高橋)が続いていた。一方前年優勝の京都支部A(上手・上手・桂・桂・平岡)は、トップから393ピン差の5位と苦戦していた。

上位20チームが進んだ決勝は、優勝濃厚と思われた一宮支部が急ブレーキの間に、岩屋支部、札幌支部に、猛追の京都支部Aも加わって、大接戦となった。その混戦を制したのは岩屋支部。トータル13362で初優勝を飾った。決勝で3525を打った京都支部Aは、15ピン及ばず惜しくも連覇を逃した。3位には京都支部Aから9ピン差で札幌支部が入り、一宮支部はさらに22ピン差の4位にとどまった。



▲入賞チーム、左から優勝・岩屋支部、2位・京都支部A、3位・札幌支部、4位・一宮支部、5位・鎌取支部A、6位・新潟支部A、7位・小田原支部、8位・川崎支部B